公益財団法人
京都府国際センター
Kyoto Prefectural International Center
NEWS
Vol.86
2018年 夏号

にほんご学習支援ネットワークRings 15周年

京都にほんごRings 結成15周年記念イベント
「きて・みて・しって 日本語教室 ～探してみよう あなたのまちの 日本語教室～」

日時：平成30年3月11日（日）13：30～16：30　場所：生涯学習施設・道の駅「ガレリアかめおか」

府内18の団体が加盟する地域日本語教室のネットワーク組織である「京都にほんごRings」が結成15周年を迎え、亀岡市で記念事業が行われました。
加盟団体を中心に北は京丹後市から南は木津川市までの団体が参加し、府内の日本語教室が一堂に会する初めての機会となりました。
「日本語教室での小さな活動は平穏な市民生活、平和な社会に繋がるという大きな意味を持つ」という渡部真理代表からの挨拶を皮切りに、京都教育大学浜田麻里教授による講演、教室紹介ブースや教室アピールコーナー、日本語教材の紹介や人材養成・研修の相談ブースなどが設けられ、会場には集まった約200名の参加者はそれぞれ目当ての教室やブースを回り、たくさんの交流が生まれました。
普段つながりのない支援者同士の交流の場となったことに加え、これまで日本語教室に関わりのない一般府民に対して日本語教育や日本語教室の意義を知ってもらう機会となりました。今回のイベントに参加して日本語学習支援活動に興味を持った方や自分の住む地域にも日本語教室を開設したいという声もあり、とても有意義なイベントとなりました。

■出展団体のご紹介

■たちばな倶楽部（京都市山科区）
京都橘大学の日本語教員養成課程を受講している学生が京都市山科青少年活動センターで活動しています。学習者は日本語をしっかりと学びたい方、日本の友人をつくりたい方、留学生などです。大学で学んでいることを実践しつつ、学習者のニーズに合わせた授業を心がけています。

■スピーク・サロン（宇治市）
年4回の交流パーティーや地域の花火大会、スタンプラリー、植物園でのホタル鑑賞会など地域の人とのコミュニケーションやつながりを実感できるイベントを行っています。

■夢気球（城陽市）
学習の主体である学習者のニーズに合った指導、多文化共生の推進を踏まえた教室運営を行っています。梅林見学や浴衣体験など地域行事や日本文化を学び日本人と交流する機会を設け、学習するという姿勢を大事にしています。
今回のイベントは他地域の教室の活動を知ることができ、支援者と交流できる良い機会だと思います。

●京都にほんご教室マップ　京都府内の日本語教室を探すことができます。➡ https://www.kpic.or.jp/njfumin/nihongo/kyoshitsumap.html

熊本地震から学ぶ～外国人被災者からの相談対応研修

京都府国際センターでは、災害時に外国人住民を支援する取組を府内全体でどのように進めて行くか検討するため、府内の市町村や市町村国際化協会と共に、毎年ワーキング会議を開催し、研修や訓練を実施しています。

平成30年3月20日にはその活動の一環として、熊本市国際交流振興事業団の八木浩光事務局長を講師に招き、熊本市での実例を基に、災害時に外国人被災者から寄せられた多種多様な相談に支援者はどのように対応すればよいのかについて研修を行いました。

研修では八木氏から、まず熊本市における在留外国人の状況と熊本地震の概略説明があり、次に熊本地震下での外国人被災者の相談及び対応事例を紹介いただきました。ワークショップでは、各参加者の地域で大地震が起きたことを想定し、起こり得る事態へどう対応するかを考えました。ワークショップ終了後、熊本地震時では実際に外国人被災者からどのような相談があり、支援者はどう対応したか個々のケースについて説明され、参加者が考えた対応案と比較し、多くの実践的対応方法を学びました。

参加者からは、「外国人被災者相談対応の実情を知ることができた。」、「臨場感のあるワークができた。」、「いかに素早い対応が必要か、事前の準備や役割分担が必要なのかわかった。」などの意見が寄せられました。

当センターでは、今年度も市町村や市町村国際化協会などと連携し、研修や訓練を重ねて行きたいと考えています。

災害時外国人支援モデルマニュアル改訂について

当センターでは、京都府内の市町村国際化協会等が、災害時における外国人住民支援のために地元自治体や関係機関と連携しながら、どのようなことを準備し行動すればよいのか、といったことを明らかにし、地域独自の「災害時対応マニュアル」を作成していただくことを期待して、平成28年度に災害時外国人支援モデルマニュアルを作成しました。
この「モデルマニュアル」をさらに実践的なものにするため、実際に災害時多言語支援センターの設置、運営に携わった経験のある方々をはじめ、災害時外国人支援に造詣の深い方々の協力を得て、平成30年3月に改訂を行いました。当センターHPにてダウンロードしていただけますので、是非、ご参考にしてください。

➡ https://www.kpic.or.jp/shichoson/bosai/manual.html#manual

京都府国際センター国際交流員
退任の挨拶

「さようならだけど、さようならじゃない」

京都府国際センター国際交流員　マルタン・ベール（フランス出身）

京都府国際センターのマルタンです。本日は退任の挨拶をさせて頂きます。

JETプログラムのおかげで京都に到着してから、1年半以上が経ちました。日本で働いて生活するのは初めてではなかったのですが、京都府では初めてでした。本当に楽しかったです！あっという間でしたが、色んな体験をさせて頂きました。

まず、経済交流、学術交流、文化交流を通じて、京都府とフランスの友好関係を促進するなど、多くの興味深いプロジェクトに携わりました。例えば、フランスの高等学校柔道チームから京都の学校と一緒に練習したいという依頼を受け、学校を探し、町を案内したり現場で通訳したりしました。また、京都府知事と在日フランス大使の面会のため、資料の翻訳、通訳もしました。フィールドトリップでは、府内の市町村へ外国人住民を連れて、地域ならではの文化体験の機会を提供しました。住民との深い関係を築き、偏見を解消し、地方振興に貢献できて素晴らしい思い出ができました。

この仕事に一番やりがいを感じた時は、学校訪問でした。国際教育と国際化に直接貢献できたからです。国際交流員として府内の小・中・高校で授業をする機会がありましたが、その時、自国に関するプレゼンテーションやゲームやフランス語また英語の紹介などやってきました。時々、日本の伝統的な文化を生徒達に紹介してもらい、日本の学校生活や彼らの日常生活について話し合って色々勉強になりました。それから、美しい折り紙をはじめ、手紙などたくさん頂きましたが、一番忘れられないのが子どもたちからの笑顔でした。

これからも京都府とフランスの関係を深めるために京都府でさせて頂いた経験を活かしたいと考えているので、さようならだけど、さようならじゃない！これまでお世話になった皆様に心より感謝申し上げます。メルシ！また今度！

ハッピー・イースター！卵染め体験

マヤ・ホール

平成30年4月15日（日）京都府国際センターにて、国際理解講座・卵染め体験「ハッピー・イースター!」を開催しました。今年のイースターは4月1日で、イベントは実際の日曜日の2週間後に行いました。欧米では一般的ですが、日本ではあまり馴染みのないイースターの習慣とイベントについて京都府内の人たちが集まって楽しくリラックスしながら話をすることが出来ました。

子どもを含めた12人の参加者があり、はじめに自然な素材のみを使用する卵染めについての簡単な説明をしました。植物の葉と花、タマネギの皮（そしてストッキングと卵を結わえる糸）を利用するのが伝統的なやり方です。簡単な説明の後作業に取りかかりました。このような方法で行うイースターの卵染めは、私がずっと家族と一緒に行ってきたことで、大陸ヨーロッパの様々な国では一般的で伝統的な方法です。

葉や花をステンシルにして、タマネギの皮をお湯で茹でると、卵は可愛らしい濃い茶色になり、自然な模様が浮き出ました！時々手間もかかりましたが、参加者の皆さんはとても楽しんだようでした。

卵を茹でている間に、イースターに関する様々なお祝いやお祝いの方法、特に私と関係の深いイギリスとドイツについてですが、プレゼンテーションを行いました。日本ではイースターはあまり馴染みが無く、理解している人も多くないため、伝統的な食事、ゲーム、イースターの真実の意味や歴史のような、あまり商業化されていない側面について話すのも楽しかったです。

最後にお湯から卵を取り出したとき、ステンシルを切り取って、その下に自然な柄が表れたときは素晴らしい気持ちでした。参加者の方は本当に興味を持って洞察力を持った質問を投げかけました。これは私にとっても大変貴重な学びの機会でしたし、日本には実際には存在しない習慣と文化を京都府の皆さまと共有し続けたいと思っています。遅くなりましたがハッピー・イースター!

京都府国際センターからのお知らせ

外国人留学生・企業交流会（2018年度国際人財ラウンドテーブル）

京都産業の次世代を担うオスカー認定企業とグローバル人材として期待される外国人留学生との交流会を開催します。

- 日　時: 平成30年9月21日（金）　13:30～17:30
- 場　所: 京都高度技術研究所10F（京都リサーチパーク東地区）
- 参加費: 無料／要予約（対象者は外国人留学生、企業大学関係者等）
- 主　催: 公益財団法人京都府国際センター　公益財団法人京都高度技術研究所　※詳細が決まり次第ウェブサイトに掲載します。

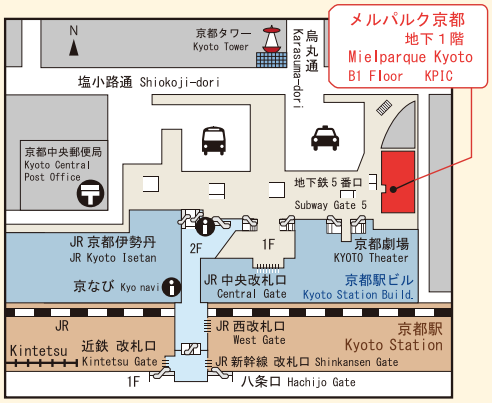
「やさしい日本語」講習会

「やさしい日本語」は、外国人とのコミュニケーションツールとしてはもちろん、福祉、教育等、幅広い分野での需要が年々高まっています。今回、基礎から実践まで、「やさしい日本語」全体にわたる講習会を開催します。

- 対　象: 外国人住民と接点を有する地域の国際化協会会員、市町村、京都府職員、NPO、企業の方々など
- 定　員: 30名（要申込み）
- 参加費: 無料
- 問い合わせ: 公益財団法人京都府国際センター
  TEL:075-342-5000　FAX:075-342-5050　E-MAIL:bousai@kpic.or.jp
- 主　催: 公益財団法人京都府国際センター
- 共　催: 福知山公立大学（北部）
- 協　力:「やさしい日本語」有志の会

	北部会場 福知山公立大学	南部会場 メルパルク京都
第1回	8月23日(木)	10月11日(木)
第2回	9月 6日(木)	10月18日(木)
第3回	9月13日(木)	11月 8日(木)
第4回	9月20日(木)	11月15日(木)

※開催時間13:30～16:00



公益財団法人京都府国際センター

〒600-8216 京都市下京区東塩小路町676-13 メルパルク京都B1F（JR京都駅前 北口東側（京都劇場側））

Tel：075-342-5000

Fax：075-342-5050　E-mail: main@kpic.or.jp

http://www.kpic.or.jp/

facebook http://www.facebook.com/kpic.kyoto

開館時間／午前10時～午後6時

休館日／毎月第2・第4火曜日、祝日、年末年始（12/29 ～ 1/3）

公益財団法人京都府国際センター NEWS　Summer 2018 平成30年夏号 第86号

編集・発行／公益財団法人 京都府国際センター　Kyoto Prefectural International Center

PRINTED WITH SOY INK